

＜講師割引適用について＞

- ・割引額は通常受講料金(税別)より、1名ご参加の場合 10,000円引き、2名以上参加の場合 通常の同時申込割引から更に1名につき 2,000円引きとなります。
- ・割引の適用条件としましては、本申込用紙にてfax申し込みされた方、 弊社HPにて講師割引番号を記載の上、お申し込みを頂いた方に限らせていただきます。また場合によっては講師にご確認を取らせていただくことがございますので、その点ご了承下さい。
- ・その他割引との併用はできません。

- ★ “有意差がある” だけで結論を出していないか？ 統計結果を「判断・説明」に結びつける実務的な考え方を解説！
- ★ 検定・回帰・分散分析を“計算”で終わらせない。性能評価・品質評価における解釈・誤用防止・合否判定のポイントを学ぶ。

＜統計結果を判断・説明するための＞

性能評価・品質評価における統計解析の実務

～有意差・回帰・分散分析の解釈と落とし穴を、体外診断薬の事例も交えて学ぶ～

【Zoomオンラインセミナー：見逃し視聴あり】

アキュプレック有限会社 取締役社長
京都大学 医学部 人間健康科学科 非常勤講師
APSS解析センター 所長
井野 邦英 氏

● 日 時 2026年8月27日(木) 10:30-16:30

● 受講料 【見逃し視聴なし】:1名 50,600円(税込(消費税10%)、資料付)
* 1社2名以上同時申込の場合、1名につき39,600円
【見逃し視聴あり】:1名 56,100円(税込(消費税10%)、資料付)
* 1社2名以上同時申込の場合、1名につき45,100円

■ 講座のポイント

医学的診断において、検査データはもっとも客観的な情報の一つであり、その信頼性や妥当性を評価するうえでは統計的な考え方が不可欠です。一方で、現場ではその「データの解釈の方法」や「解析結果をどう判断につなげるか」等、統計手法を知っているだけでは対応が難しい場面も少なくありません。

本講座では、性能評価・品質評価における実務的な判断に焦点を当て、体外診断薬の事例も交えながら、統計解析をどのように活用し、結果をどのように解釈していくべきかを解説します。また、実務で発生しがちな誤用や判断ミスにも触れながら、その考え方や解釈への理解度を高めることを目的としています。体外診断薬分野における性能評価事例を取り上げますが、品質評価や試験データ解析に共通する統計的な考え方として、他分野にも応用可能な形で解説します。

■ 受講後、習得できること

- ・方法のひとつひとつを例を元に体験しながら学ぶ ・基本的なデータ評価の考え方とその統計的な考え方を理解する。
- ・有意差検定が評価にどのように用いられているかを考える。 ・統計的判断と臨床的判断の各々の利点と問題点を理解する。 ・解析結果の有益な情報提供の仕方を学んでいく。

■ 想定受講対象者

- ・統計に使っているが「この判断で本当にいいのか」と不安を感じている人 ・試験データを扱っているが結果の解釈・説明に苦勞している担当者
- ・上司・QA・規制当局への説明でロジックの弱さを指摘された経験がある層 ・「統計講義は受けたが現場で使えない」と感じている層

- 本テーマ関連法規・ガイドラインなど
- 1) 丹後俊郎他、医学的統計学ハンドブック、朝倉書店
 - 2) 定量検査の精密さ・正確さ評価法 JCCLS (GC-JAMT1-1999)
 - 3) 井野邦英，データのまとめ方と考え方－目的に応じた統計解析の選び方－第11版，ACCPREC
 - 4) 日本放射線技術学会，放射線医療技術学業書 (30)ICRU レポート 79(日本語訳) 医用画像の ROC 解析，日本放射線技術学会
 - 5) 久道茂，がん検診診断学，東北大学出版会，2009
 - 6) 鈴木義一郎，「比較」統計学のすすめ，ブルーバックス、講談社

- 講演プログラム
1. 実務における統計・検定解析の考え方と見方
 - 1) 標準偏差の意味と計算の仕方、使い方
 - 2) どんな代表値（平均値・中央値）を使えばいいのか
 - 3) 標準偏差と標準誤差どちらを使うのか
 - 4) 正規分布をとらない歪んだ分布の記述する方法
 - 5) 箱ひげ図の読み取り方法は
 2. 代表的統計手法の使い分けと解釈上の留意点（回帰・関連・分散分析等）
 - 1) 比較するデータは対応しているのか
 - 2) 回帰分析結果などの解釈をする際に誤るパターン
 - 3) 関連があるのかをどう調べるのか、相関ではだめなのか
 - 4) 分散分析を行うと多重比較しなきゃだめなのか
 3. 統計結果の解釈と意思決定への結びつけ方（有意差・信頼区間・判定基準の考え方）
 - 1) 仮説検定はなぜ差がないから始めるのか（帰無仮説）
 - 2) 有意差の解釈を誤る典型パターン
 - 3) 有意差とp値の表現、信頼区間との関係は
 - 4) 信頼区間を表記する目的はなにか
 - 5) 検定結果と判定基準をどう考えるか
 4. 性能評価や品質評価でのデータの取り方と証明の仕方
 - 1) 差がないことをどうしたら証明するのか
 - 2) 問題がないとはどういうことか
 - 3) 定量値と定性値の比較はどうすればいいのか
 - 4) 分散分析を用いるケースと結果を誤るパターン
 5. 体外診断薬の実例から学ぶ、解析結果の活かし方と誤用を防ぐポイント
 - 1) 有意差の解釈を誤るパターン
 - 2) 統計結果をどのように「合否判定」に結びつけるか
 - 3) 異なる検定での結果に違いをどうするか
 - 4) 個別の結果と全体の結果の食い違いにどう対応するか
 - 5) 回帰分析からの解釈を誤るパターン
 - 6) 感度と特異度はなにをみているのか

＜質疑応答＞

WEBでの検索は→「情報機構 AB260887」

講師割引申込

本講座料金(税別)より ¥10,000 引き
2名以上参加 更に¥2,000 引き

見逃し視聴の有無

☐あり

☐なし

※どちらかを選びチェック印☑を入れてください。
受講料が異なりますのでご注意ください。詳細は弊社ホームページへ

会社名			住所	〒	
所属・役職			TEL		FAX
受講者		e-mail		上司氏名	
備考欄					
今後ご希望の案内方法にレ印を記入下さい(複数回答可) ☐ e-mail ☐ FAX ☐ 郵送 ☐ 不要					

ご連絡頂いた、個人情報

は弊社商品の受付・運用・商品発送・アフターサービスのため利用致します。今後のご案内希望の方には、その目的でも使用致します。

今後のサービス向上のため「個人情報の取扱に関する契約」を締結した外部委託先へ、個人情報を委託する場合があります。個人情報に関するお問合せ先 policy@johokiko.co.jp

＜申込要領＞

以下をご了承の上、お申込み下さい

1.お申込確認後、受講券・請求書をお送りいたします。
(申込者数が最小催行人数に達しない場合、開催決定まで受講券等の発送を見合わせる場合がございます)

2.受講料のお支払いは、原則として開催日から1週間後までにご利用いたします。但し、会社×日等により難しい場合は、開催日の翌月末までにご利用いたします。(振込日が決まりましたら請求書に同封の振込連絡書にてご連絡下さい)

3.申込後、ご都合により講習会に出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。止むを得ず欠席の場合、弊社事務局宛に下記までご連絡下さい ※原則、お電話での受付は致しかねます(受付時間9:00～17:00)連絡先→ req@johokiko.co.jp
弊社からの受領確認メールを持って受付完了とさせていただきます(弊社からのメールが翌営業日中迄にない場合はご一報下さい)尚、以下の規定に基づき、料金を申し受けます。
※開催日から逆算して(土日・祝祭日除く)
・講座3日前～4日前での欠席のご連絡: 受講料の70%
・講座当日～2日前での欠席のご連絡: 受講料の100%
4.原則として銀行振込の場合領収証は発行いたしません。
振込手数料はご負担下さい。
5.最小催行人数に満たない場合等、事情により中止になる場合がございますが予めご了承下さい。